

# ENEOSホールディングス株式会社

<https://www.hd.eneos.co.jp/csr/report/index.html>



## 《将来に向けた取組方針》

ENEOSグループでは、エネルギー・資源・素材の供給を担う企業グループの責務として、事業活動が気候変動リスクや自然資本へ与える影響を適切に把握しています。その上で、グループ行動基準\*に「環境保全」を掲げるとともに、「環境」をCSR活動の重点分野の1つとしています。具体的には、ENEOSグループ環境目標を策定し、グループ一体となって持続可能な社会の形成に向けた取り組みを進めています。

※グループ行動基準：私たちは、地球環境がかけがえのないものであることを認識し、限られた資源を取り扱う企業グループとして、水、土壌、大気等の自然資本と生物多様性の保全に努めるとともに、持続可能な社会の形成に貢献します。

## 〈具体的取組み事例〉

ENEOSでは、「ENEOS生物多様性ガイドライン」を定めるとともに、周辺に緑地帯が多い国内主要事業所において生物生態調査を行い、生物多様性保全活動を計画的に進めています。

根岸製油所では、2018年度に新たな取り組みとして山羊による緑地内の除草やふれあいのイベントを開催しました。



ふれあいイベントの様子（根岸製油所）



カセロネス銅鉱山周辺に自生する植物

JX金属のチリにあるカセロネス銅鉱山では、生物多様性の保護を目的として15種類、48,200本の原生植物の植林が1.43km<sup>2</sup>のエリアで進められています。また、植林のほかにも現地に自生する植物の生育状況のモニタリング、カセロネス銅鉱山周辺に自生する高地特有の植物の繁殖・分布と気候の影響等との関連性の研究も進めています。